



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日工株式会社
コード番号 6306 URL <http://www.nikko-net.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 辻 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 藤井 博 TEL 078-947-3141
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・新聞記者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,619	1.8	718	95.6	975	84.3	594	165.0
2023年3月期第3四半期	27,129	△0.1	367	△64.2	529	△55.7	224	△74.6

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 1,547百万円（622.5%） 2023年3月期第3四半期 214百万円（△76.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	15.52	—
2023年3月期第3四半期	5.86	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	59,640	32,036	53.9	838.80
2023年3月期	52,127	31,604	60.7	826.73

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 32,149百万円 2023年3月期 31,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	10.9	1,900	84.8	1,900	51.3	1,200	17.6	31.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	40,000,000株	2023年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,671,526株	2023年3月期	1,723,305株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	38,307,164株	2023年3月期3Q	38,255,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足資料は2024年2月13日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2024年3月5日（火）にアナリスト向け説明会（ライブ配信）を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、アメリカが景気のソフトランディングを目指し金利の引上げの終わり
と金利引下げ時期を探る状況となり、日本では原材料価格等の価格転嫁が進み、物価高が消費者へ与える影響が大
きくなり賃上げが注目されるとともに日本銀行のゼロ金利解除のタイミングに注目が集まる状況となっています。
一方、中国では昨春からの不動産事業を中心とした経済減速が続いており、世界経済に与える影響が懸念されてい
ます。

このような状況下、当社グループも中国での景気減速の影響を受けるも、コンクリートプラント関連事業が堅調
に推移したことやモバイルプラントのウクライナ復興支援案件も増えていることから、当第3四半期連結累計期間
の連結売上高は276億19百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

損益面では、海外の影響や人件費等の増加があるも、売上高の増加に加え7月にグループ入りした株式会社松田
機工が寄与したことから、連結営業利益7億18百万円（前年同四半期比95.6%増）となりました。連結経常利益は
9億75百万円（前年同四半期比84.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億94百万円（前年同四半期比
165.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「破碎機関連事業」、「製造請負関連事
業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しており、当第3四半期連結累計期間の比
較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① アスファルトプラント関連事業

国内の製品の売上高は前年同四半期比増加しました。国内のメンテナンス事業及び海外の売上高は、前年同四半
期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比23.0%減の100億80百万円となりました。当第
3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

② コンクリートプラント関連事業

国内の製品の売上高及びメンテナンス事業の売上高は前年同四半期比増加しました。海外の製品の売上高は前年
同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比18.7%増の78億86百万円となりました。
当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

③ 環境及び搬送関連事業

搬送製品の売上高は前年同四半期比増加しました。環境製品の売上高は前年同四半期比減少しました。この結
果、当事業の売上高は、前年同四半期比6.9%増の22億86百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけ
る受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

④ 破碎機関連事業

破碎機製品の売上高は前年同四半期比増加しました。この結果、前年同四半期比100.2%増の27億45百万円とな
りました。当第3四半期連結累計期間における受注高は前年同四半期比増加、受注残高は前年同四半期比減少しま
した。

⑤ 製造請負関連事業

製造請負製品の売上高は前年同四半期比増加しました。この結果、前年同四半期比47.8%増の16億67百万円とな
りました。当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

⑥ その他

仮設機材の売上高は前年同四半期比で増加しました。土農工具の売上高は前年同四半期比減少しました。この結
果、当事業の売上高は、前年同四半期比7.0%増の29億53百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけ
る受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は596億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して75億12百万円の増
加となりました。

流動資産は、388億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して51億59百万円増加いたしました。主な要因
は、現金及び預金の31億73百万円、仕掛品の27億64百万円、商品及び製品の11億11百万円それぞれ増加、売掛金の
9億20百万円、受取手形の5億58百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産は、207億56百万円と
なり、前連結会計年度末と比較して23億52百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の13億91百万円、
投資有価証券の13億50百万円それぞれ増加、繰延税金資産の4億25百万円減少したこと等によるものです。

負債は、276億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して70億79百万円増加いたしました。主な要因は、契
約負債の25億21百万円、長期借入金の24億14百万円、短期借入金の7億40百万円それぞれ増加、賞与引当金の2億
40百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、320億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億32百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の9億55百万円の増加、利益剰余金の5億54百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.7%から53.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表しました業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,317	13,491
受取手形	2,357	1,799
売掛金	6,645	5,724
電子記録債権	2,233	2,166
商品及び製品	1,794	2,906
仕掛品	7,423	10,188
原材料及び貯蔵品	1,657	1,591
その他	1,294	1,016
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	33,723	38,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,945	6,070
土地	3,878	4,197
建設仮勘定	236	1,195
その他(純額)	1,779	1,766
有形固定資産合計	11,839	13,230
無形固定資産		
のれん	130	204
その他	889	989
無形固定資産合計	1,020	1,193
投資その他の資産		
投資有価証券	3,488	4,838
出資金	7	106
長期貸付金	14	12
繰延税金資産	981	556
その他	1,183	948
貸倒引当金	△130	△129
投資その他の資産合計	5,544	6,332
固定資産合計	18,404	20,756
資産合計	52,127	59,640

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,012	3,578
電子記録債務	858	1,252
ファクタリング未払金	2,355	2,717
短期借入金	3,312	4,053
未払法人税等	265	240
未払金	644	615
前受金	17	17
契約負債	3,713	6,234
賞与引当金	417	176
役員賞与引当金	76	61
受注損失引当金	172	179
その他	492	758
流動負債合計	15,338	19,886
固定負債		
長期借入金	2,449	4,864
繰延税金負債	0	126
役員退職慰労引当金	235	195
退職給付に係る負債	2,166	2,199
その他	333	331
固定負債合計	5,184	7,717
負債合計	20,523	27,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,197	9,197
資本剰余金	7,934	7,946
利益剰余金	13,628	13,073
自己株式	△760	△738
株主資本合計	29,999	29,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,177	2,133
為替換算調整勘定	582	610
繰延ヘッジ損益	-	31
退職給付に係る調整累計額	△115	△104
その他の包括利益累計額合計	1,644	2,670
非支配株主持分	△40	△113
純資産合計	31,604	32,036
負債純資産合計	52,127	59,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	27,129	27,619
売上原価	19,924	19,598
売上総利益	7,204	8,020
販売費及び一般管理費	6,837	7,302
営業利益	367	718
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	100	137
為替差益	86	109
保険解約返戻金	-	46
その他	43	70
営業外収益合計	232	365
営業外費用		
支払利息	55	83
損害賠償金	4	12
その他	10	11
営業外費用合計	70	108
経常利益	529	975
特別利益		
投資有価証券売却益	0	67
固定資産売却益	-	8
特別利益合計	0	76
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	23	-
その他	-	0
特別損失合計	23	0
税金等調整前四半期純利益	506	1,051
法人税、住民税及び事業税	209	404
法人税等調整額	113	110
法人税等合計	322	515
四半期純利益	183	536
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△41	△57
親会社株主に帰属する四半期純利益	224	594

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	183	536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	955
繰延ヘッジ損益	-	31
為替換算調整勘定	△23	12
退職給付に係る調整額	9	10
その他の包括利益合計	30	1,010
四半期包括利益	214	1,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259	1,620
非支配株主に係る四半期包括利益	△44	△72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。